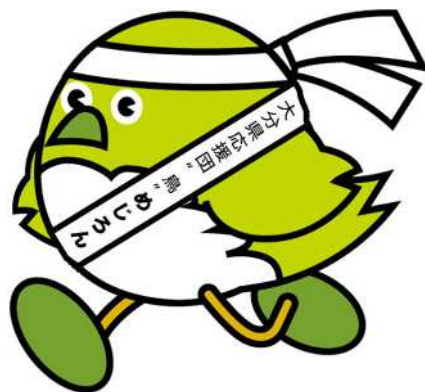


企業・財団による助成プログラム
(8) 公益財団法人ベネッセこども基金





2025年度助成プログラムご紹介 公益財団法人ベネッセこども基金

目次

<本日の内容>

1. ベネッセこども基金について
2. 2025年度助成プログラム概要
3. 応募～選考スケジュール
4. 説明会・個別相談会について
5. 採択後のスケジュール・伴走支援について

↓ 助成に関する情報はこちらのページにまとめています。
<https://benesse-kodomokikin.or.jp/subsidy>
右のQRコードからも上記のページにアクセスできます



ベネッセこども基金について

ベネッセこども基金について

こどもたちが 自らの可能性を 広げられる社会をめざして

私たちベネッセこども基金は、
こどもたちを取り巻く社会課題の解決および
多様な学びの機会の提供に取り組んでいます



4つの自主事業



4つの助成事業

重い病気を抱えるこどもの
学び支援活動助成

経済的困難を抱えるこどもの
学び支援活動助成・複数年

経済的困難を抱えるこどもの
学び支援活動助成・単年

NEW

多様な困難を抱えるこどもの
学び支援活動助成

NEW

災害地のこどもの
学びや育ちの支援活動助成

5

活動について

アニュアルレポート



ベネッセこども基金HP



6

助成プログラム概要

2024年度助成実績

重い病気を抱えるこどもの学び支援活動助成

■ 採択実績テーマ

- ・ ICTを活用した学習支援
- ・ 病気の子どものご家族対象事業
- ・ 遊び、アート、スポーツ、体験
- ・ 支援者育成、地域ネットワーク

■ 2024年採択団体数 7団体

■ 2024年活動団体（2023年度採択）

かないと（福岡）芸術家と子どもたち（東京）
Child Play Lab.（東京）Try Angle（石川）北海道こどもホスピスプロジェクト（北海道）ポプルワークス（東京）ラ・ファミリエ（愛媛）

経済的困難を抱えるこどもの学び支援活動助成・複数年

■ 採択実績テーマ

- ・ 社会的養護・地域協働・外国ルーツ
- ・ 支援者育成・ヤングケアラー・事業基盤強化

■ 採択団体数 6団体

■ 2024年活動団体（2021・22・23年度採択）

eboard（兵庫）COCONI（大阪）みらいTALK（静岡）
mia forza（宮城）ゆめみ〜る（北海道）
ABCジャパン（神奈川）茨城Y M C A（茨城）
こどもエンカレッジアート（鹿児島）
佐賀県外国にルーツを持つ生徒交流を支援する会（佐賀）
ミタイ・ミタクニヤイ子ども基金（神奈川）
UMEプロジェクト（広島）e-Education（東京）
うみのこてらす（徳島）オリーブの家（岡山）
くじら寺子屋（沖縄）ソウレッジ（静岡）
BORDER FREE（東京）

助成プログラム 全体像

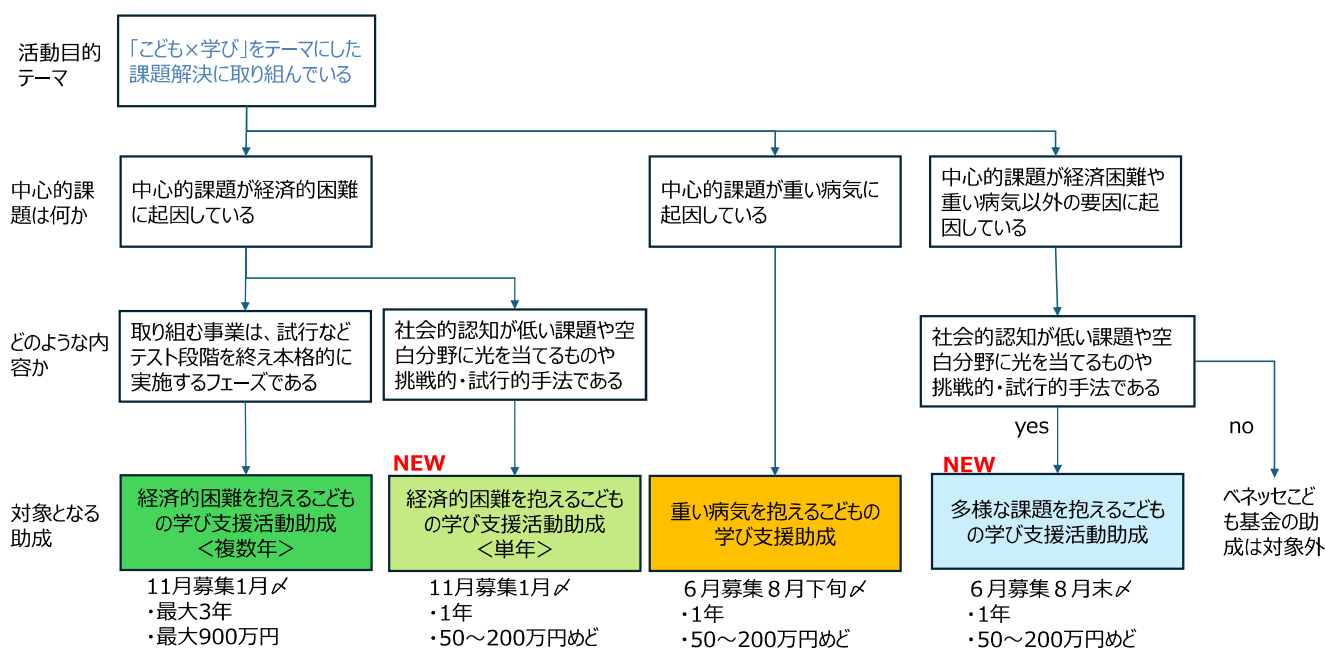
こどもたちが学びを通じて自ら可能性を広げられるように、「こども×学び」を支援する団体を助成することを通じて、学びの機会の提供と環境づくりを支援します。

学びにアクセスできない課題に取り組むために、2025年度は2枠を新設し以下のテーマで助成を行います。

		NEW	NEW
重い病気を抱えるこどもの学び支援活動助成	経済的困難を抱えるこどもの学び支援活動助成・複数年	経済的困難を抱えるこどもの学び支援活動助成・単年	多様な困難を抱えるこどもの学び支援活動助成
重い病気を抱え、学びにアクセスできないこどもの学び支援活動。	経済的困難を抱え、学びにアクセスできないこどもの学び支援活動のうち、試行などテスト段階を終え、中長期視点で自立的な事業継続・発展をめざす取り組み	経済的困難を抱え、学びにアクセスできないこどもの学び支援活動のうち、社会的認知が低い課題や空白分野に光を当てるものや挑戦的・試行的手法のもの	中心的課題が経済困難や重い病気以外の要因に起因している、多様な課題を抱えるこどもの学び支援活動で、社会的認知が低い課題や空白分野に光を当てるものや挑戦的・試行的手法のもの
1年 50～200万円	最大3年 最大900万円	1年 50～200万円	1年 50～200万円

災害地のこどもの学びや育ちの支援活動助成

補足) 各助成のポイント



助成募集要項一覧（災害助成除く）

	重い病気を抱えるこどもの 学び支援活動助成 単年	経済的困難を抱えるこどもの学び支援活動助成		多様な課題を抱えるこども の学び支援活動助成NEW 単年
		複数年	単年	
対象となる団体	■ 上記助成テーマで活動を行っている非営利団体 (特定非営利活動法人 (NPO)、財団法人、社団法人、社会福祉法人など) ■ 「助成決定後の義務・条件」に同意いただける団体			
対象となる活動	重い病気を抱え、学びにアクセスできないこどもの学び支援活動。 複合的な要因の場合は、中心的課題が重い病気に起因しているもの	経済的困難を抱え、学びにアクセスできないこどもの学び支援活動。 複合的な要因の場合は、中心的課題が経済的困難に起因しているもの	経済的困難を抱え学びにアクセスできないこどもの学び支援のうち、 社会的認知が低い課題や空白分野に光を当てるものや 挑戦的・試行的手法のもの	中心的課題が経済困難や重い病気以外の要因に起因している、 多様な課題を抱えるこどもの学び支援活動で、 社会的認知が低い課題や空白分野に光を当てるものや 挑戦的・試行的手法のもの
1団体当たりの助成金額	50～200万円程度	最大900万円	50～200万円程度	50～200万円程度
助成総額	1000万円程度	1500万円程度 (初年度の合計金額)	1000万円程度	1000万円程度
助成期間	1年間	最大3年	1年間	1年間
公募開始時期	2025年6月中旬	2025年11月中旬	2025年11月中旬	2025年6月中旬
公募〆切	2025年8月下旬	2026年1月上旬	2026年1月上旬	2025年8月末
選考結果通知	2025年12月	2026年3月	2026年3月	2025年12月

募集要項補足

【学びについて】

※学びとは知識の獲得だけではなく、こどもの成長を促す豊かな体験や出会いなども含めて、広く捉えています。

【助成対象団体】

前述の助成テーマで活動を行っている非営利団体

（特定非営利活動法人（NPO）、財団法人、社団法人、社会福祉法人など）

「助成決定後の義務・条件」に同意いただける団体

※法人格が無くても申請可能ですが、個人名義の口座への助成金の振り込みはできません。

※原則として営利団体への助成は行いません。

【助成金額について】

1件あたりの金額は規定しませんが、単年度の助成では50～200万円程度を想定し、複数年度の助成については最大3か年最大900万円で、申請された内容を審査して個々に額を決定。

※収入見込みに自治体の補助金や他の公共法人等の助成金が含まれていても応募できます。

【助成対象となる費用】

対象となるもの：助成対象期間の活動費用

対象とならないもの：申請事業に関わらない団体運営の費用や要員の人件費

選考について

【選考方法】

- ・有識者からなる選考委員会により審査し、理事会での決議を経て決定します。
- ・書類にて審査します。ただし選考の過程で、事務局からメールやオンラインミーティング等でお問い合わせさせていただく場合があります。

【選考の観点】

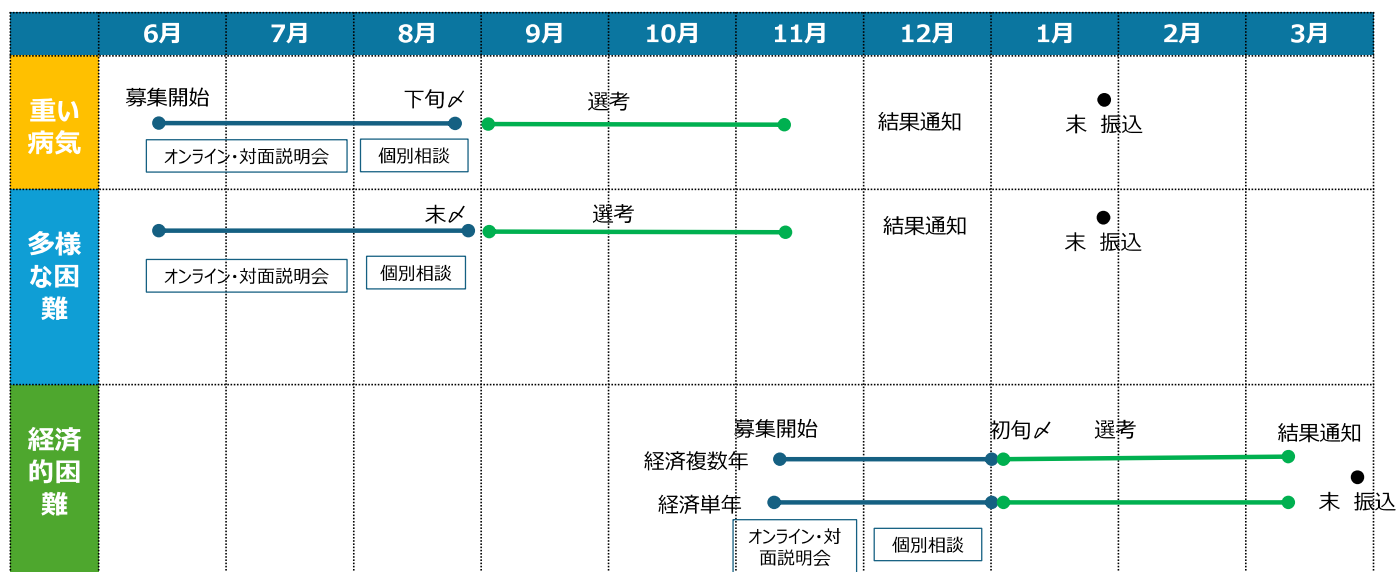
- ・課題の明確性：活動地域におけるこどもの状況や課題が十分に把握されている
- ・計画の適切性と具体性：把握された課題に対してその解決につながる適切で具体的な計画になっている
- ・実行可能性：計画が実行可能であり、また、実行に必要な人材・体制を有し、知識・ノウハウ・経験を備えている
- ・予算の妥当性：計画に応じ予算の使途が適切かつ効率的である
- ・モデル性・革新性：問題提起やユニークな視点・手法を含み、同様の課題に取り組む人たちの参考となる
- ・継続性・発展性：助成終了後の自立的な事業継続や発展が期待できる
- ・こどもの声：こどもの声や当事者の気持ちや事情を反映するプロセスを経ている

※経済的困難を抱えるこどもの学び支援活動助成は計画の適切性と具体性において、「段階的な目標設定がされるなど中期的な視点に立った計画になっている。」も重視されます。

※困難を抱えたこどもを対象とした学び支援になっていないものは対象になりません。

「新助成プログラム群」実施スケジュール

重い病気・多様な困難を前半期、経済複数年・単年を後半期に実施します



説明会・個別相談など

説明会・個別相談会について

それぞれの助成について、説明会（オンライン・訪問）と個別相談会を準備しています。



助成説明会

助成プログラムについて
知りたい

- ・ 選考時に重視される観点は？
- ・ 伴走支援はどんな感じ？
- ・ 次年度への継続には審査はあるの？
- ・ 質疑応答



個別相談会

自団体の事業と助成主旨が
合っているか知りたい

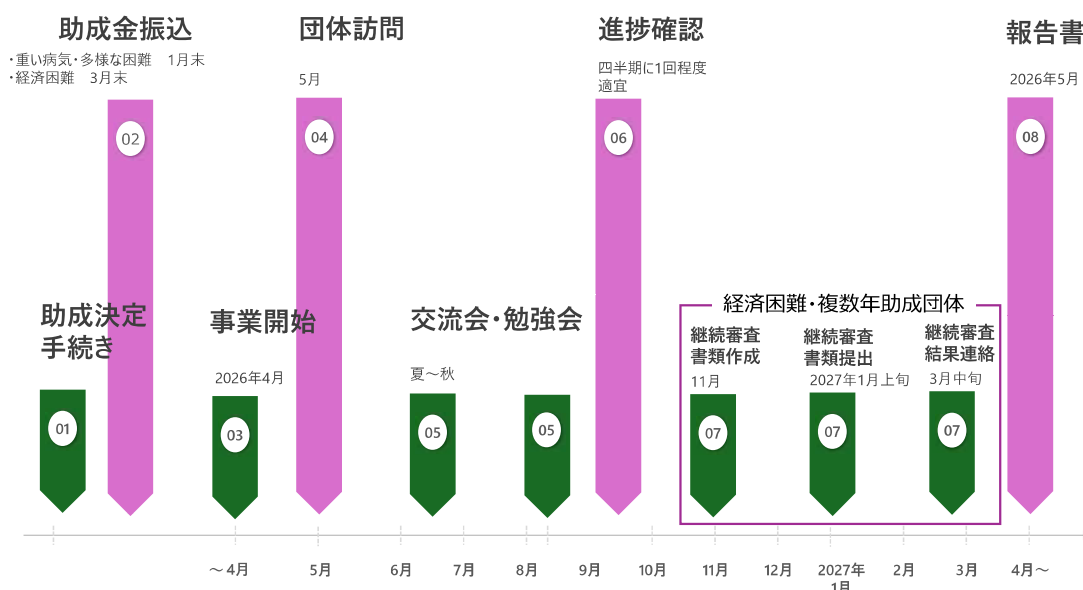
- ・ うちの団体は助成対象？
- ・ こんな活動は助成対象？
- ・ これも経費に計上できる？

採択後の予定

採択後にお願いすること

- ・当財団が助成した旨の表示
- ・活動進捗の報告や訪問ヒアリング等への対応
- ・取材への協力
- ・成果報告書の提出
- ・助成団体交流会や報告会への参加

採択後のスケジュール



Copyright Benesse Foundation for Children. All rights reserved.

伴走支援(団体ニーズによって参加自由)

組織基盤強化に役立つ研修を用意。団体希望によって手上げで活用できます。

実施例① 協力のテクノロジー研修

- 行政やほかの団体などどのように連携し、事業を進めていくかを、6つのステップに基づいて考える
- オンライン・全体研修＋個別セッション
- 講師 松原 明さん
協力アカデミー代表理事

実施例② ファンドレイジング研修

- ファンドレイジングについて基礎から体系的に学ぶ。継続的な資金調達についても考える。
- オンライン・全体研修・個別セッション
- 講師 久保 匠さん・御手洗薫さん・瀬上倫弘さん
日本ファンドレイジング協会

実施例③ 支援者向け子どもの権利研修

- 子どもの権利についての基礎知識を得、こどもの権利推進のための事例を知り自団体の活動に活かす。
- オンライン・全体研修
- 講師 岩附由香さん 認定NPO法人ACE 代表

【過去の実施例】 ※2025年度の実施内容・回数等は未定

皆様からのご応募、お待ちしております！

FBで発信します
ぜひフォローを
お願いします！



公益財団法人ベネッセこども基金 助成窓口
TEL **04-7137-2570**
メールアドレス kodomokikin@grop.co.jp
月～金 10：00～17：00

フォローお願いします



no+e